

発行/芦屋市役所

☎ 0797-31-2121/☎ 0797-38-2152

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7番6号

🌐 <http://www.city.ashiya.lg.jp>

✉ info@city.ashiya.lg.jp

■問い合わせ

障害福祉課 ☎38-2043/☎38-2178



昨年の年末のつどいの様子

### 12月3日～9日は “障害者週間” です

国では、平成23年8月に公布された障害者基本法で新たに「地域社会における共生等」「差別の禁止」「国際的協調」という基本原則を定めました。国民の間に広く関心と理解を深めるとともに、障がいのある人があらゆる分野の活動に参加することを促進するため、毎年12月3日から9日までの1週間を「障害者週間」と定めています。

この機会に、障がいのある人もない人も、共に生きる社会について考えてみませんか？

障がいを持つかたがたやご家族にとつて、今日の日本はあまり快適な環境とはいえないかもしれません。少子高齢化の進行によるコミュニケーションの弱体化や厳しい障がいの者の雇用情勢、障がい者だけでなく、孤立死、虐待、ホームレス、生活困窮者など新しい福祉課題への対応も迫られています。芦屋市においても行財政改革が進められ職員体制を含む削減努力はこれからも進むことでしょう。社会保障制度に見られるように行政主導で十分な生活支援の体制を確立するのは困難になっています。全国的な課題として、中小企業の活性化、雇用の創出、環境対策や子育て支援、高齢者支援についてはまったなしの課題です。教育、福祉、安心安全なまちづくりをスローガンにし、民間活力の導入を検討し、地域経済の好転を重点施策とするのは当然なので

筆者プロフィール 木下隆志(きのしたたかし)氏  
芦屋市自立支援協議会副会長/関西国際大学准教授



【研究テーマ】

精神疾患のある家庭(親子)の生活支援

【論文】

思春期の精神疾患の早期発見、教育機関を含めた支援体制についての考察

【著書】

「生活保護の面接必携」など

障がいを持つかたがたやご家族にとつて、今日の日本はあまり快適な環境とはいえないかもしれません。少子高齢化の進行によるコミュニケーションの弱体化や厳しい障がいの者の雇用情勢、障がい者だけでなく、孤立死、虐待、ホームレス、生活困窮者など新しい福祉課題への対応も迫られています。芦屋市においても行財政改革が進められ職員体制を含む削減努力はこれからも進むことでしょう。社会保障制度に見られるように行政主導で十分な生活支援の体制を確立するのは困難になっています。全国的な課題として、中小企業の活性化、雇用の創出、環境対策や子育て支援、高齢者支援についてはまったなしの課題です。教育、福祉、安心安全なまちづくりをスローガンにし、民間活力の導入を検討し、地域経済の好転を重点施策とするのは当然なので

筆者プロフィール 木下隆志(きのしたたかし)氏  
芦屋市自立支援協議会副会長/関西国際大学准教授

### 「芦屋市サポートファイル」について

平成26年4月からのスタートに向けて、「芦屋市サポートファイル」を作成しています。「サポートファイル」とは、支援を必要とするかたのさまざまな情報をまとめたもので、保護者と共に支援者が連携を図り、途切れのない支援を行うことを目的に作成するファイルです。

障がい者手帳の所持や診断の有無に関わらず、支援を必要とするかたが、必要性を感じた時から使っていただくものです。

◆ 内容

サポートファイルは、生育歴、緊急時の対応・診断名等の情報、成長の記録(各年齢での支援の記録、支援機関からの引継ぎ書等)が主な内容となっています。

◆ 使い方

成長と共に、保育所・幼稚園から小学校へ入学や初めてサービスを利用する時等に提示して、ご本人の生育歴や生活の状況等を伝える時の補完的情報として活用するとともに、支援者とのコミュニケーションのきっかけとして活用できます。

病院や学校等で何度も同じことを説明するといった、保護者の負担も軽減されます。

◆ 記録と保管

記録、保管ともご本人と保護者が行います。

※配布場所など本格スタートにあたっての詳細は、あらためて広報等でお知らせします。

う。障がいについて、簡単に語ることはできません。しかし、共通している事は、人と向き合う時間をたくさんもってきたかたがたであるということとです。だからこそ、生活支援に携わる関係者を含め、地域住民とともに、時と場を共有する工夫が必要だと感じています。

最後に俯瞰と仰視をつなぐことが必要です。このような福祉を取り巻く状況に的確に対応するため、芦屋市では障がいの者の地域生活の課題について検討していく自立支援協議会を設けています。自立支援協議会は芦屋市の障がい者施設の機関や団体から構成された組織です。平成二十三年度は芦屋市全域にある福祉施設を紹介する福祉マップ「芦屋つぶ」を作成しました。キャラクターの「あしやっち」は関係者間ではちよっとした人気を呈しています。現在は平成二十六年度の完成を目指し、とぎれないサービス提供を支える「サポートファイル」の作成を行っています。このように、漸進的ではありますが、着実に一歩一歩、地域福祉を進めていくことを試みています。

自立支援協議会と共助社会